



兵庫支部NEWS H28年11月号

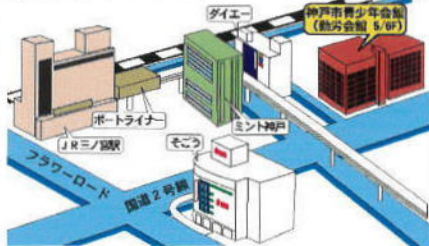
北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)
 兵庫支部ブログ <http://blog.goo.ne.jp/ninom45> メール:hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)
 購読のお申し込みは郵便振替
 振替口座:00980-2-245822
 口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

兵庫支部 11月定例役員会

11月27日(日)午後1時@神戸市青少年会館6F

兵庫支部11月定例役員会が11月27日(日)午後1時から神戸市青少年会館6Fサークル4において開催される。(JR三ノ宮駅東出口海側東へ徒歩3分)



主な議題は:
 報告事項

1. 同窓会本部行事参加報告
 評議会、募金実行委員会、女性の会全国支部役員の集い、第66回総会・懇親会、記念ゴルフ大会70周年記念式典・祝賀会。
2. 歩こう会11月例会 周防大島旅行
3. 兵庫・関西囲碁交流会
4. 関西支部滋賀の秋を楽しむ会
5. その他

協議事項

1. 忘年会打ち合わせ
2. 自主的活動事業一平成の会再構築について
3. その他

第66回同窓会総会・懇親会開催

兵庫支部浜田幹事・高山幹事功労賞受賞

10月23日(日)午前10時から第66回同窓会総会が、小倉北区のリーガロイヤルホテル小倉において開催された。今年5月第11代会長に就任された善正善(センタツヨシ)会長が挨拶し、熊本地震お見舞いの言葉、九州六大学野球秋季リーグ戦優勝の報告の後、70周年記念募金や奨学金制度の見直しなど同窓会が抱える諸問題を前日の評議会で議論されたことなどを話された。

功労者表彰では名誉教授などの特別会員4名、本部役員2名及び支部役員

19名が壇上に整列して表彰を受けた。

兵庫支部から推薦された浜田勝義幹事(S44米英) 高山行雄幹事(S45米英)の両氏も壇上に並び表彰を受けた。



(壇上の浜田氏(右端)と高山氏(隣)

平成27年度事業報告、主な活動記録、決算そして平成28年度運営・活動方針、主要事業項目、予算が報告され総会が終了した。

続いて特別演奏会になり、マンドリンクラブ現役・OBの合同演奏、そしてコール・ユーフォニーの現役の演奏、OBの演奏、最後に現役・OB合同の演奏があり会場の聴衆を魅了した。

兵庫支部忘年会開催ご案内

12月3日(土)午後6時@隠れ家ダイニングかなで

開催場所: 隠れ家ダイニングかなで
 神戸市中央区北長狭通2-11-5
 グランドコーストビル6階

JR三ノ宮駅
 西口徒歩3分

阪急神戸三宮駅
 西出口徒歩2分

地下鉄三宮駅
 西出口3番
 徒歩1分



会費: 男性5,000円、女性4,500円
 申込締切日: 平成28年11月25日(金)

申込先: 高山行雄氏

Tel.078-961-2913 携帯 090-5891-5825

E-mail:buder207@hi-net.zaq.ne.jp

懇親会は約500人で大盛況

懇親会はホテル最大の大宴会場エンパイアルームの全スペースを使って開催され、会場には秋季リーグ戦優勝の優勝カップと盾が飾られていた。大学創立70周年記念に因み、実行委員が大動員を企て、例年にない多数の参加者約500人で大盛況



の懇親会になった。乾杯はひびきのキャンパスで開発の日本酒「ひびきのの杜」。いつもの応援団

とチアリーダーは九州代表決定戦応援に出かけ、急遽少林寺拳法の演武が披露された。恒例の福引は兵庫支部出席者は幸運に恵まれず。徳永野球部監督が駆けつけ敗戦の報告があった。次期実行委員(7期)への引継式後、逍遙歌の大合唱で懇親会が終了した。

兵庫支部親睦会「三金会」会場ご案内



Bar Salu(ハルサル)元町

神戸市中央区北長狭通3-31-91

JR元町駅東口北出口から東へ徒歩1分

Tel.078-391-4136(ヨイサル)

「開催日時」

毎月第三金曜日
 午後6時~8時予定

会費

約3000円(男女とも)

(実費割り勘)



同窓会会費完納者

小村弘一氏 (S45経済)

平成28年度上半期の同窓会会費完納者が同窓会本部から発表され、兵庫支部会員は上記の1名でした。

70%が支部に還元されますので、支部活動の為に有意義に活用させて頂きます。有難うございました。

第66回同窓会総会・懇親会に出席して

浜田勝義 (S44米英)



母校の同窓会の総会及び懇親会に出席する為、10月23日早朝家を出て午前6時50分新大阪発のスーパーエクスプレスさくらに乗車し、9時12分小倉駅に着いた。小倉に来るのはなんと40数年ぶりである。会場の(浜田氏)リーガリヤルホテル小倉に入ると、同じく功労賞表彰を受ける高山さんがすでに来られていた。彼は昨日熊本で友人に会ったとのことでした。

総会は午前10時から行われ、功労賞表彰では功労者一人ひとりが紹介され、感謝状をいただき感無量であった。総会終了後、兵庫支部から出席の人達と記念撮影をした。



懇親会が始まるまでマンドリンクラブの演奏とコール・ユーフォーニーの合唱があった。(総会後の記念写真) 両者とも現役学生と卒業生の混成で同窓生の絆の強さを感じた。

12時半から懇親会が始まり、会場で恩師の小嶺名誉教授(音声学)が出席されていて話が出来て嬉しかった。恩師の多くはすでに他界されたという。

懇親会終了後高山さんにモノレールで北方まで案内していただき大学に行ってみた。(高山さんは新幹線の予約の関係で北方で下車せず)大学の校舎は新しくなり昔の面影は殆ど無かった。キャンパスでは日曜日にもかかわらずサークルの学生が活動していた。また新図書館では勉学に勤しむ学生の姿もあった。

演奏あり、合唱あり、人との出会いありの一生の思い出となる秋の一日となった。

熊本の先輩を訪ねて来ました

高山行雄 (S45米英)



10月23日本部総会に出席し「支部役員として永年に亘り同窓会に貢献した」との感謝状を頂戴した。誠に有難うございます。

本部総会等については先輩方にお任せし、(高山氏)番外編を報告します。

前日、熊本市在住の宮原義治氏(ESSの一年先輩)を訪ねた。県立高校の校長を退き、現在、予備校の講師を務めている。生憎の雨模様の中、熊本市役所の屋上から熊本城を眺めながら被災状況を聞いた。地震直後の余りの惨情を目にした折、涙が流れたと伺い、小生も阪神大震災の話を伝えた。城に出向くと、崩れた石垣や無残な天守閣が痛ましい。何年も掛けて復元すると言う。早くあの熊本城の雄姿を見たいと願って



おむすび大好き♡ I Love を結び

三村晴美 (S60経営)

醤油麴の焼きおむすび

第37回は「醤油麴の焼きおむすび」です。

手作りの醤油麴を使って、醤油の香りが、ほんわり美味しいおむすびです。



【材料 2個分】

- ・ご飯・・・
- 茶碗1杯
- ・醤油麴・・・適量
- ・白ごま・・・適量

【作り方】

- ①温かいご飯でおむすびを作ります。
- ②ジップロック(またはビニール袋)に醤油麴を適量入れ、①のおむすびを入れて、味をしっかり馴染ませます(1時間以上)。
- ③アルミホイルにオリーブオイルを塗り、くしゃくしゃにして、②のおむすびに白ごまを振って並べて、トースターで15分ほど焼きます。
- ④焼きあがったら、お皿に盛ります。

☆醤油麴の作り方☆

(材料)乾燥米麴・・・300g 醤油・・・400cc

1. フタつきの容器に、乾燥米麴と醤油を入れ、混ぜます。
2. 発酵途中にガスが出るので、フタはゆるめにしめます。
3. 1日に1回混ぜながら、1~2週間ほど常温で置きます。
4. とろみが出て、味がまろやかになったら完成です。
5. 冷蔵庫で保存します。

いる。午後から仕事がある宮原さんと別れて、47年ぶりに水前寺公園を訪れた。震災で池の水が枯れたが、その後地下水脈が繋がったそうで、水を満々と湛え、築山の緑が鮮やかであった。



北九州市まで戻り、翌日、本部総会に出席。終了後、卒業以来、大学を訪ねていないという浜田先輩と北九州モノレールで北方へ。

新幹線の予約時間が迫っていたので、浜田さんを見送り、小倉駅まで引き返した車両が「北九州市立大学創立70周年」のPR車であったと気づき、とても幸せな気分になった。



投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳などあるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料:1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

平成28年度第2回評議会

兵庫支部評議員 名越英昭(S37米英)

10月22日(土)午後1時半からリーガロイヤルホテル小倉において平成28年度第2回評議会が開催された。全国48支部から支部長兼評議員と会員数が1,000人以上の12支部から選出の専任評議員、合計60人の評議員の内56人が出席した。

善会長は就任後11支部を訪問し更に4支部を年内に訪問予定。支部共通の問題は高齢化による参加者の減少、若い世代の参加対策検討、募金活動は約6,700万円が目標にはほど遠いが何としても月末までに目標達成したいと挨拶があり、この日行われた九州代表決定トーナメント戦準決勝に勝利し、明日決勝戦を戦うこととなったと報告があった。

議長に中西好昭岡山県支部長(S47経営)が、副議長に佐田正晴静岡支部長(S48経営)が選出され議案審議に入る。

平成28年度上半期事業報告、活動報告及び予算執行状況が報告・承認された。功労者表彰審査委員会平岡三光委員長(S40米英、福岡県南支部長)から審査経過7/19支部宛推薦依頼、8/19締切、9/26委員会開催し、全会一致で被推薦者全員の表彰を決定したと報告。

70周年記念募金活動経過報告では、10/13現在で約6,700万円だと報告があり、課題となっている奨学金制度の見直しの状況について中間報告があり、更に検討を進め、来年5月の評議会に審議されるようにすること。

井上俊夫熊本支部長(S47英文)が熊本地震の際の支援に感謝し、被災の状況等の報告があり、11/19支部総会開催予定で、会員のその後の復興状況を確認する(井上支部長)予定とのこと。尚、熊本支部会員の宮部妙美氏(S54英文)から自著作品「パラオからの手紙」(ペンネーム、スミス妙美)の寄贈を受けその収益金を被災者への義援金にとの申出により、評議会会場前で総会・懇親会会場で販売された。

若干の質疑応答後総会を終了し、引き続き**70周年支援募金同窓会実行委員会**に入る。

募金活動は最終ステージ(第4ステージ=平成28年10月~平成29年3月)を迎え、大学が主体となって実施する取組み(三回目の募金趣意書と振込用紙を9月中旬に全会員宛送付)本部が主体となって実施する取組み(各支部の取組み事例集の配布)本部と支部が協力して実施する取組み(同窓会会員の掘り起こしを行い参加率20%を目指す、北九州市内及び近隣の会員に対する促進活動)などが説明され、各支部で取り組んでいる募金支援活動の事例が紹介された。

その後**支部地区別募金部会第4回会議**に移行し、関西支部、和歌山支部、兵庫支部で構成する関西地区支部募金部会において、各支部からこれまでの募金活動の状況と今後の取組み予定などを話し合った。

終了後女性評議員は午後6時からの「女性の会」に出席し、男性評議員はそのまま解散となった。

「女性の会」第1回全国支部役員集い

兵庫支部幹事(スマレ会) 西村洋子(S40米英)

10月22日(土)午後6時からリーガロイヤルホテル小倉において「女性の会」第1回全国支部役員集いが開かれ、スマレ会から檜崎栄子(S50国文)と筆者の2名が出席した。

当日の出席者は29名で、三つのグループに分かれ、各支部での活動の経緯、内容紹介、意見交換が行われた。

平成28年現在の男子学生は3,023名に対して、(中野、檜崎、西村、柳)女子学生は3,140名で、半数を超えているが、卒業後に各地域での同窓会への参加人数となると、年齢的に若い卒業生と並んで、女性の参加も極端に少ないのが全国共通の悩みであることが判った。一応「女性の会」が出来、活動しているのは18都府県のみだそうだ。

そこで大学70周年記念行事の一環として、女性会員の同窓会への参加促進に向けた方策を探る今回の集いが企画された。

意見交換に参加してみて、全国の北九大卒業生に同窓会にも参加してほしいという同窓会本部の強い意図親心を感じた。また、支部の世話役を務めている方々の苦労や工夫、時には楽しみも肌感覚で受信できた。

兵庫支部のスマレ会では、先ず出来ることを今迄どおり続けていきたい。できれば「参加しなければいけない」という意識よりは、小倉の方言を借りて言うなら「会いたいっちゃん、来んね!」の気持ちが共有できるスマレ会活動になったらいいなあと痛感している。

女性の会・総会・懇親会に出席して

兵庫支部幹事(スマレ会) 檜崎栄子(S50国文)

女性の会の会議に出席してまず感じた事は、どこの支部も同じような悩みを抱えている事が判りました。出席人数が少ない。出席者も毎年同じ顔ぶれ。若い人の参加が特に少ないなど。

私達の班では、女性の会に出席してもらう為の電話での呼びかけを一人ですると落ち込むので、皆で集ってしている支部。総会に出席してもらう為に女性の会を休止している支部など参加人数を増やす事に一生懸命。短い時間内での話し合いの為思いを十分に伝えられていない感もあるが、最後に次回までに子育て世代に参加を呼び掛けて実行してほしいとの事で締めくくられて終了。この件は来年までの宿題。来年のスマレ会開催には実行しなければならないので大変です。

翌日、総会に出席してマンドリンクラブの演奏とコーラス・ユーフォニーの合唱に感動しました。現役生とOB・OGたちの楽しげで息の合った演奏・合唱に心を奪われてマンドリンを習いたいと思うほどでした。心から演奏・合唱を楽しんでいる事が伝わってきました。懇親会では残念ながら知り合いに会う事は出来ませんでした。最後にエンパイアルーム一杯に円陣を組んで逍遥歌を歌った事は他では味わう事の出来ない良い経験でした。ありがとうございました。



第182回「歩こう会」10月例会

播磨富士「高御位山」304m登山

名越英昭(37米英)

平成18年7月に一度登った事のある標高304mの播磨富士と呼ばれる、加古川市と高砂市の境にある高御位(カミクワ)山に10年ぶりに登った。

10月9日午前9時JR曾根駅に集合したのは二宮慶治郎会長(38米英)と筆者の二人だけ。早速、東へと進み阿弥陀町の通りに入ると曾根天満宮の秋季例祭の準備の真っ最中。高御位山に登るのであれば雨で滑り易くなっているから気をつけると声がかかる。小一時間で鹿嶋神社参道入り口に到着。(右)



名物のかしわ餅屋さんが並ぶ参道を通り一顧成就の神様鹿嶋神社参拝の後、本殿横の登山口から山道に入る。前回の時最も強く印象付けられ記憶に残っている「百間岩」と呼ばれる一枚岩に差し

かかり、滑らないようにと慎重に歩を進める。(左) 上ったところで下を見ると若い人はひょいひょいと軽々と歩いて登っていた。羨ましい!

苦労して登った百間岩を過ぎると反射板が設置された最初の小ピークから下り坂になり再び登ると鷹ノ巣山(264.2m)だ。そこからなだらかな道を進み馬の背登山口方面への分岐点を過ぎ、桶居(ウケ)山への分岐点を過ぎる辺りで後を振り返ると通って来た尾根伝いの道が見える。(右)

すでに12時半を回っているが目的の高御位山の頂上は見えてこない。しばらく頑張って黙々と歩き続けたが岩場の見晴らしの良い場所に来たのでそこで昼食をとることにする。(左) 一時半過ぎに再出発し30分ばかりで

高御位山山頂の岩場に到着した。そこではアマチュア無線(ハム)を楽しむ人、ロッククライミングの練習をする人(左下)など、休日を謳歌している風景が気持ちや和ませられる。岩場の脇には高御位神社があり、無事登頂を(山頂の岩場で)感謝して参拝する。(右下)

前回はこのまま東へと進み、戊井登山口へと降りて宝殿駅までバスを利用した記憶があるが今回は少し、引き返し長尾登山口へ向うルートにした。やはり岩場の道があるとの事だが挑戦することにする。



第27回兵庫・関西囲碁交流会

10月21日(金)午後1時から神戸・三宮の「阪急囲碁クラブ」において第27回兵庫・関西囲碁交流会が開催された。

参加者は関西支部から3人に対し、兵庫支部から7人だったので兵庫支部同士の対局のみだった人もあった。

終了後は「三金会」と合流して懇親会。当日の成績は下記の通り。(兵庫関西の対局のみ集計)



(囲碁交流会対局風景)

兵庫支部	関西支部
平間正昭3段(37商) 2勝0敗	茨木幹夫7段(34米英) 2勝2敗
山本信司2段(37米英) 1勝1敗	小葉竹英樹4段(40商) 2勝2敗
赤松初夫2級(40米英) 1勝1敗	都留猛(32米英) 2勝1敗
名越英昭2級(37米英) 1勝2敗	
安徳信義4級(44商) 0勝2敗	
5勝6敗	6勝5敗
通算対戦成績 兵庫支部4勝22敗1分(団体戦)	
	230勝336敗2分(個人戦)

兵庫支部月例懇親会「三金会」10月例会

10月21日(金)午後6時から、囲碁交流会の懇親会と合流し、BarS'alu(バルザル)元町店において開催。参加者は8人。左端から時計回り、奥本進(39商)

茨木幹夫(34米英) 小葉竹英樹(40商) 名越英昭(37米英) 大村実良(33商) 二宮慶治郎(38米英) 平間正昭(37商) 今市均(会友)



「囲碁の会」定例会

毎月第3金曜日午後2時~午後5時半

会場: 阪急囲碁クラブ(写真右)
JR高架下飲食街2F、
阪急神戸三宮駅西口寄り
Tel.078-331-1303



会費: クラブ料金制度に基づく
入場料: 700円
対局料: 1局50円(敗者負担)

初心者歓迎! 気楽にお出で下さい!



長尾登山口への分岐点を過ぎると直ぐに岩場に出た。(左) 恐々と慎重に足を踏み出していくが、岩場は乾ききっているので滑る事もなく、躓かないよう注意深く歩けば大丈夫だ。

そろりそろりと歩いたので、案内地図には30分と書いてあるが1時間ほど要して柿の実る麓に到着した。(右) さらに1時間ほど歩いてJR曾根駅に到着して帰路につく。

